

平成
23年度

決算に関する質疑

問 コミュニティ助成事業は、決算額で約1000万円の増額となっているが、各助成額と内容は、

答 地域のコミュニティ団体を対象とし、限度額は250万円である。平成23年度の主なものとして、水道町一丁目と吉田文京町の自治会館の建設助成がある。

問 ホームページ管理運営費について、ホームページの画面上では、バナー広告が前段にあたり、市民にとって求める画面に行きにくかったりと利便性に欠ける。工夫すべき点があるのではないかと。

答 平成23年度に新しいホームページの管理システムを導入してページを一新し、なるべく分かりやすくなることを基本に改定した。ホームページの自身は、職

員間で検討するほか、他市を参考にしながら改善していきたい。

問 生活保護の扶助費が、当初予算から約3700万円も増額になっている。あ

答 保護者数の増については、例年の増数は見込んでいたところである。昨年12月に補正をした時点で、医療費、通院費などの医療扶助費が8000万円増額し、今日に至っている。

問 結核予防事業について、

結核の罹患率は減少傾向にあるようだが、減少率は鈍化している。国内ではまだ2万2000人超の結核患者が発生している。この事業は毎年行われているが、

昨年度どのような工夫を凝らし、成果が上がったのか。

答 この事業は65歳以上の方の胸のレントゲン健診を委託し、特定健診や他の健康診査とあわせて実施している。市の結核患者として登録された方の人数は、平成20年度8人、21年度9人、22年度7人であった。

問 公害防止費の公共水域水質検査委託料について、現状はどうか。

答 中之口川の南公民館わきと、同じく野球場わきの排水路の2カ所の水質調査を行った。トリクレンなどの検出を対象とした検査だが、1年間で環境基準をオーバーしたことが3回あった。検査時期の8月は湧水期のため基準も高目に推移しており、一過性のものである。

問 住宅リフォーム助成費の、助成件数と経済効果は、

答 助成件数は486件で、3839万4000円を助成した。それに値する工事費が7億725万円である。この効果を算出したところ、助成額の3・3倍に及び1億2800万円の工事費の押し上げがあったものと思われる。さらに経済波及効果では助成額の5・5倍に値する約2億1000万円の効果があつたものと算出される。

問 小売店主販路拡大支援事業には、燕・吉田・分水各地区の商店の方々が参加されているのか。その内容は、

答 6回のカリキュラムを開催した。18商店の参加があり、内訳は燕地区が3店、吉田地区が14店、分水地区が1店であった。第1回目の「商売繁盛の秘密とは」では、15の商店主の方から出席をいただいた。

問 都市公園管理費の公園遊具の設置について、23年度に3基の遊具を再設置したようだが、どのような遊



新しくなった遊具(燕地区南公園)



消防本部防災センターの備蓄庫

問 備蓄品の整備事業を詳しく聞きたい。

答 災害対策事業の中の消耗品費で、災害備蓄品の購入

答 平成23年度は燕地区に2基、吉田地区に1基である。遊具の種類は自治会や子ども会を通して選んでいただいている。また、撤去した遊具と同じ種類を再設置することを原則としている。アンケートについては、今後も予定はしていない。

問 スポーツエキスパースポーツ事業について、各地区の中学校における指導者の派遣人数は。また、学校間との連携はあるのか。

答 県の補助金を利用した事業で、外部指導者を中学校

問 奨学金について、平成23年度の申込者数と状況は。

答 平成23年度の申込者数は37名で貸与決定は36名である。貸与審査委員会で成績や経済的理由、またその他の特別な事情などを勘案して貸付の審査を行っている。

問 下水道の接続率は。

答 平成23年度末燕地区71・2%、吉田地区52・6%、分水地区44・5%、市全体では63・8%である。西川処理区に該当する地域が少し低目であり、率を上げるためにPRや個別訪問などを実施している。今後粘り強く続けて接続率アップにつなげていきたい。

決算の特徴

ゲンネット・クラブ・ドウスカ?

歳入歳出差引額 13億9,199万6,000円	純繰越金 11億6,550万円	翌年度へ繰り越すべき財源 2億2,649万6,000円										
歳入総額 358億 1,777万1,000円 前年度比3.0%増 (+10億5,540万8,000円)	<table border="1"> <tr> <th>増減した主なもの(歳入)</th> <th>増減した主なもの(歳出)</th> </tr> <tr> <td>地方交付税 23年度 67億4,193万2,000円 (+4億9,896万8,000円) 22年度 62億4,296万4,000円</td> <td>システム開発業務委託料 23年度 5億1,924万6,000円 (+4億8,281万1,000円) 22年度 3,643万5,000円</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金の社会資本整備総合交付金 23年度 2億9,471万6,000円 (+2億8,771万6,000円) 22年度 700万円</td> <td>新庁舎建設事業 23年度 2億4,466万1,000円 (+1億7,433万7,000円) 22年度 7,032万4,000円</td> </tr> <tr> <td>地方債の緊急防災・減災事業費 23年度 5億8,140万円 (+5億8,140万円) 22年度 0円</td> <td>燕弥彦総合事務組合ごみ処理費負担金 23年度 2億9,359万9,000円 (▲2億7,948万5,000円) 22年度 5億7,308万4,000円</td> </tr> <tr> <td>合併特例債 23年度 13億3,800万円 (▲11億2,220万円) 22年度 24億6,020万円</td> <td>し尿受入施設建設費 23年度 0円 (▲2億6,591万4,000円) 22年度 2億6,591万4,000円</td> </tr> </table>	増減した主なもの(歳入)	増減した主なもの(歳出)	地方交付税 23年度 67億4,193万2,000円 (+4億9,896万8,000円) 22年度 62億4,296万4,000円	システム開発業務委託料 23年度 5億1,924万6,000円 (+4億8,281万1,000円) 22年度 3,643万5,000円	国庫支出金の社会資本整備総合交付金 23年度 2億9,471万6,000円 (+2億8,771万6,000円) 22年度 700万円	新庁舎建設事業 23年度 2億4,466万1,000円 (+1億7,433万7,000円) 22年度 7,032万4,000円	地方債の緊急防災・減災事業費 23年度 5億8,140万円 (+5億8,140万円) 22年度 0円	燕弥彦総合事務組合ごみ処理費負担金 23年度 2億9,359万9,000円 (▲2億7,948万5,000円) 22年度 5億7,308万4,000円	合併特例債 23年度 13億3,800万円 (▲11億2,220万円) 22年度 24億6,020万円	し尿受入施設建設費 23年度 0円 (▲2億6,591万4,000円) 22年度 2億6,591万4,000円	歳出総額 344億 2,577万5,000円 前年度比2.2%増 (+7億3,026万1,000円)
増減した主なもの(歳入)	増減した主なもの(歳出)											
地方交付税 23年度 67億4,193万2,000円 (+4億9,896万8,000円) 22年度 62億4,296万4,000円	システム開発業務委託料 23年度 5億1,924万6,000円 (+4億8,281万1,000円) 22年度 3,643万5,000円											
国庫支出金の社会資本整備総合交付金 23年度 2億9,471万6,000円 (+2億8,771万6,000円) 22年度 700万円	新庁舎建設事業 23年度 2億4,466万1,000円 (+1億7,433万7,000円) 22年度 7,032万4,000円											
地方債の緊急防災・減災事業費 23年度 5億8,140万円 (+5億8,140万円) 22年度 0円	燕弥彦総合事務組合ごみ処理費負担金 23年度 2億9,359万9,000円 (▲2億7,948万5,000円) 22年度 5億7,308万4,000円											
合併特例債 23年度 13億3,800万円 (▲11億2,220万円) 22年度 24億6,020万円	し尿受入施設建設費 23年度 0円 (▲2億6,591万4,000円) 22年度 2億6,591万4,000円											